

第 99 期定時株主総会 Q&A サマリー

①Q:2020 年 3 月期の利益及び株価の回復手段を教えてください。

A:将来を見据えた投資を継続しながら今期掲げた目標を達成し、企業価値を高めてまいります。

②Q:配当金及び配当性向の考え方について教えてください。

A:配当金については、業績に連動させながら安定的な配当を行うことを基本としております。ここ 10 年間の配当性向は、約 20～25% ございました。今期より 30% を目安にいたしました。将来的には更に上げていきたいと考えております。

③Q:配当は下がっているが、役員報酬が変化していない理由について教えてください。

A:役員報酬の業績連動報酬分は、前期の業績に基づいて決定しております。このため、前期の報酬は前々期の業績が反映されております。

④Q:社外役員の報酬が増額している理由について教えてください。

A:指名・報酬諮問委員会等、社外役員の役割が増えたため、昨年 7 月より報酬を増額しております。

⑤Q:役員報酬は、前期の業績に基づき減少するのか。

A:役員報酬の業績連動報酬分は、前期の業績が反映されます。ただし、人数や職責、役位等により変わるため、指名・報酬諮問委員会を通じ、取締役会の承認を経て決定することになります。

⑥Q:損益計算書の特別利益の投資有価証券売却益について説明してほしい。

A:投資有価証券売却益については、保有株式の一部売却額約 13 億円、売却益約 6 億円を計上しております。

⑦Q:損益計算書の補助金収入の内容について教えてください。

A:託児所開設に伴う保育事業助成金、東北工場建設に伴う国・県・村からの助成金であり、大衡村企業立地促進奨励金および工場物流施設新增設事業助成金などです。

⑧Q:今期の見通しを株主通信等で配布する予定はあるか。

A:当社ホームページの IR 情報に開示しているのでご覧いただきたいと思います。

⑨Q:前期の会計監査人の報酬支払額が、前々期より倍増している理由を教えてください。

A:基幹システムを刷新いたしました。正確な在庫精度を確保するため監査法人と一緒に取り組んでまいりましたので、一時的に費用が増加いたしました。

⑩Q:植村氏の監査役会および取締役会での助言内容について教えてください。

A:専門的見地から作業環境管理といった産業衛生上の観点や、社員の健康管理面で産業医と協力して助言しております。今後は健康経営、更なる社員の健康増進に向けて取り組んでまいります。